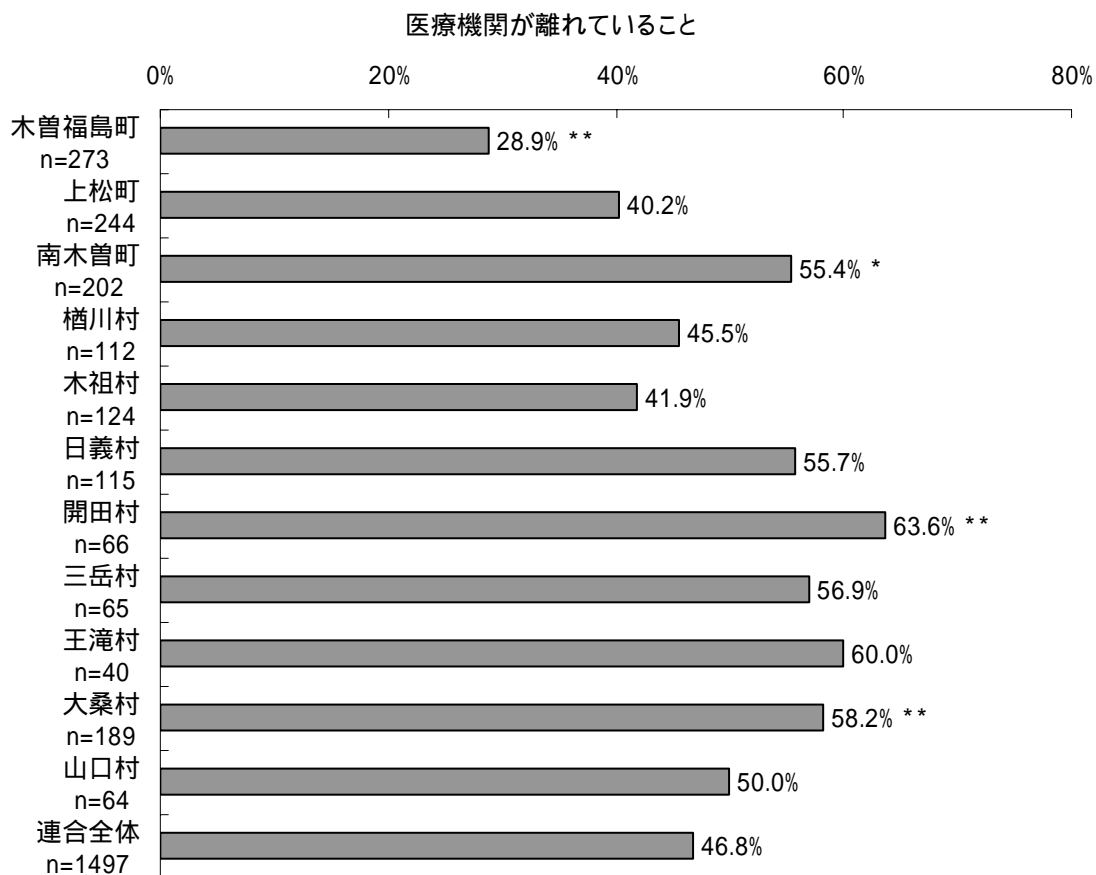


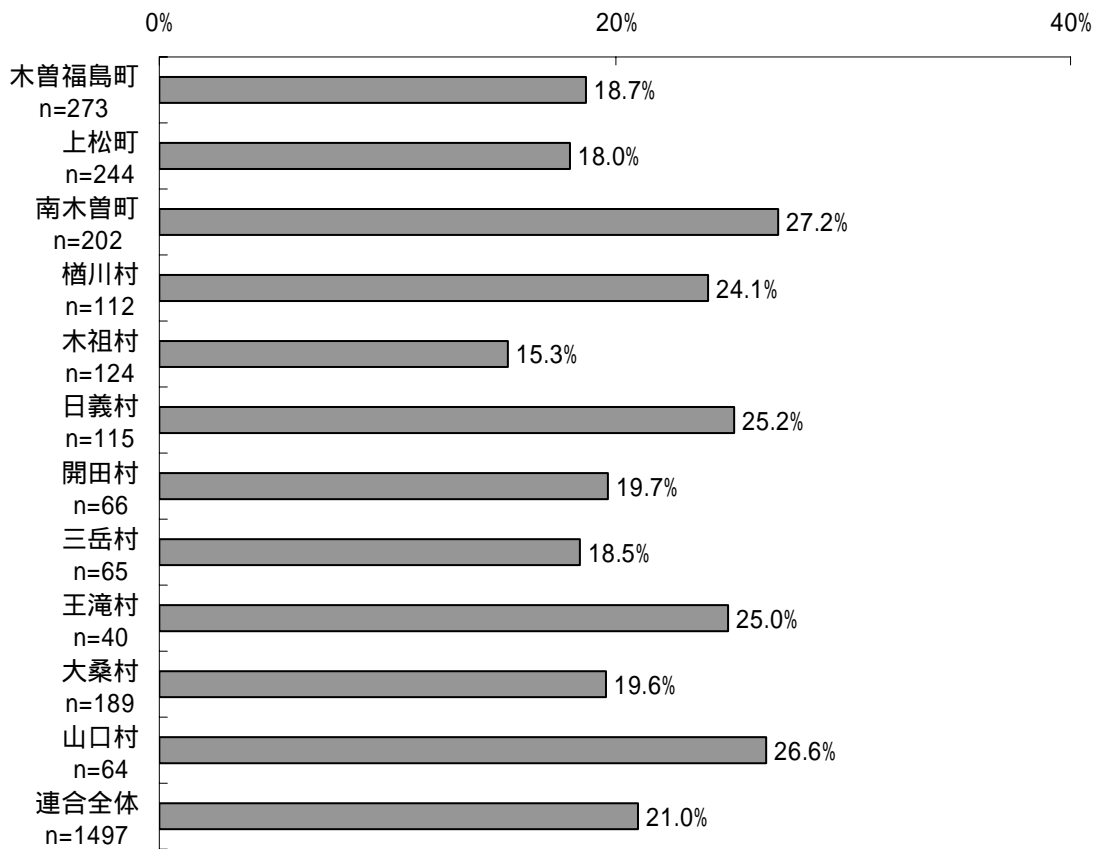
#### 4) 居住地域と今後の生活不安との関係



現在の居住地域で老後を過ごすにあたっての不安事項として「医療機関が離れていること」を挙げた割合を居住地域別にみると、開田村で最も多く（63.6%）、次いで王滝村（60.0%）、大桑村（58.2%）、三岳村（56.9%）、日義村（55.7%）、南木曽町（55.4%）、山口村（50.0%）、榑川村（45.5%）、木祖村（41.9%）、上松町（40.2%）、木曽福島町（28.9%）であった。

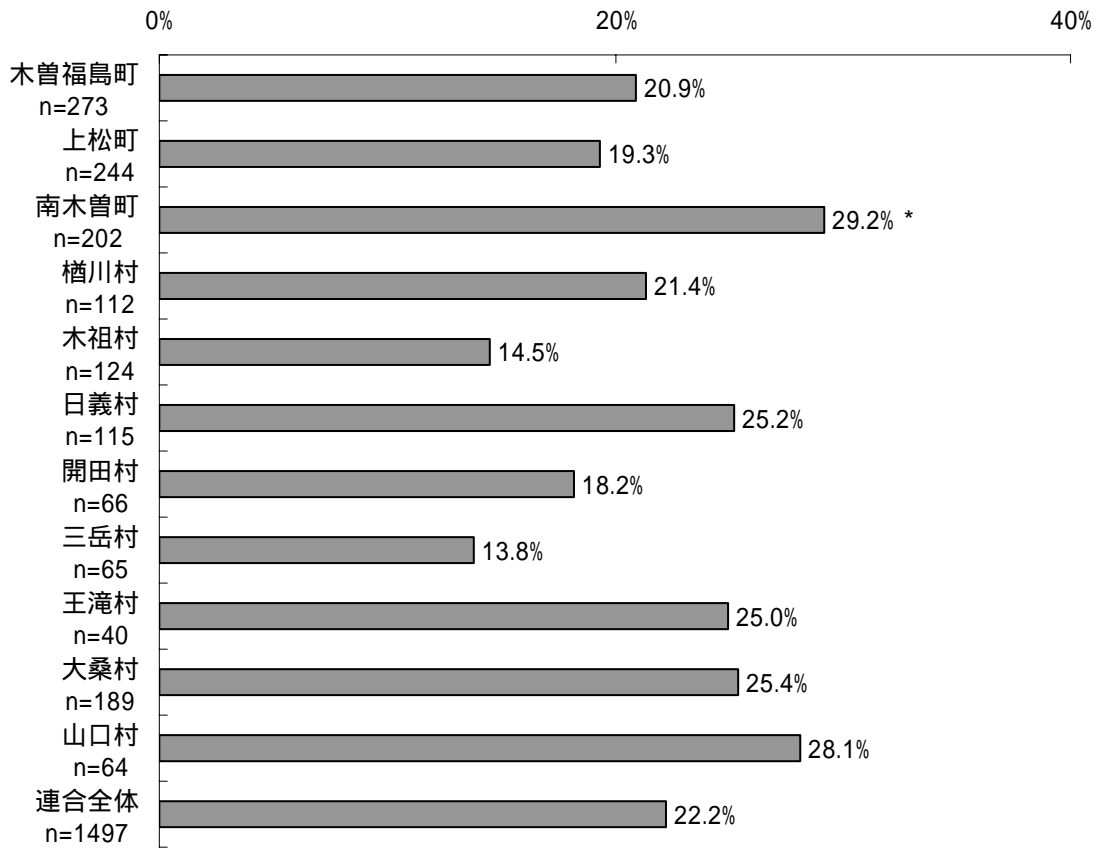
特に、開田村、大桑村、南木曽町は連合全体での割合に比べ、統計学的に有意に高い割合であった。また、木曽福島町は連合全体での割合に比べ、統計学的に有意に低い割合であった。

在宅で利用できる公的な福祉・介護サービスが少ないこと



現在の居住地域で老後を過ごすにあたっての不安事項として「在宅で利用できる公的な福祉・介護サービスが少ないこと」を挙げた割合を居住地域別にみると、南木曽町で最も多く（27.2%）、次いで山口村（26.6%）、日義村（25.2%）、王滝村（25.0%）、檜川村（24.1%）、開田村（19.7%）、大桑村（19.6%）、木曽福島町（18.7%）、三岳村（18.5%）、上松町（18.0%）、木祖村（15.3%）であった。

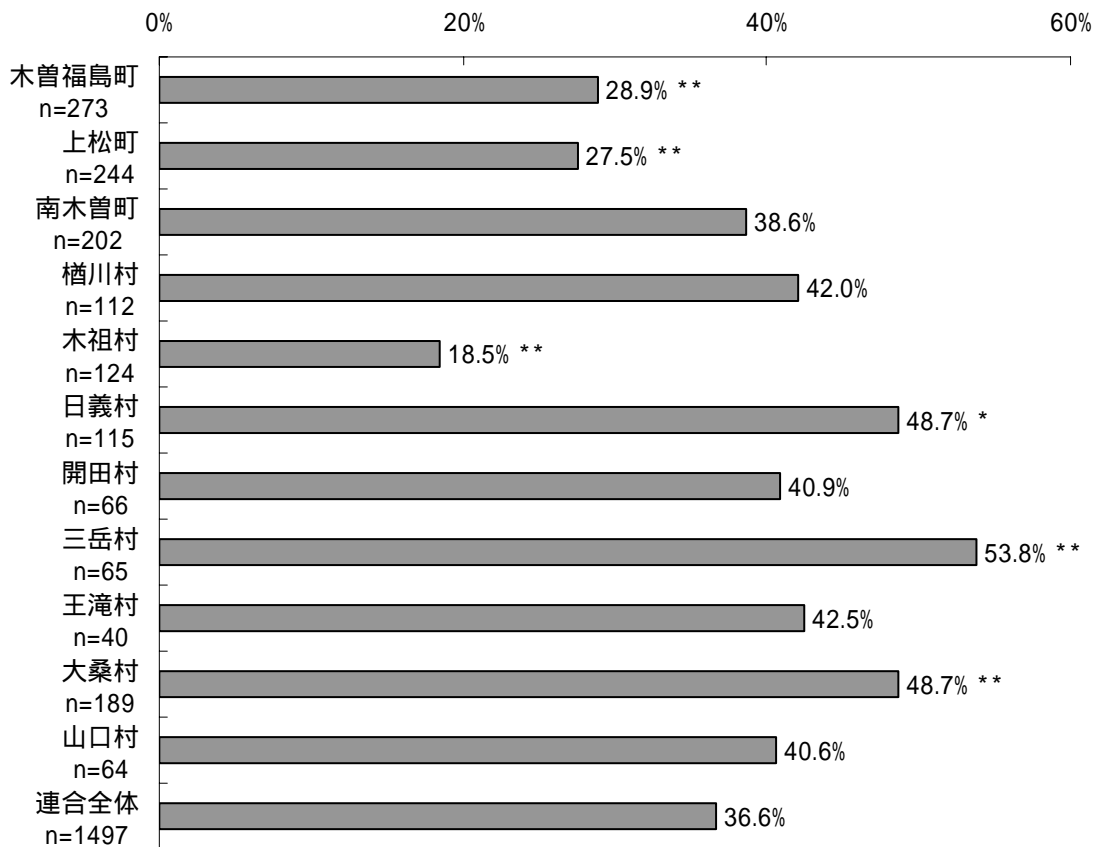
在宅で利用できる民間企業による福祉・介護サービスが少ないこと



現在の居住地で老後を過ごすにあたっての不安事項として「在宅で利用できる民間企業による福祉・介護サービスが少ないこと」を挙げた割合を居住地別にみると、南木曽町で最も多く（29.2%）、次いで山口村（28.1%）、大桑村（25.4%）、日義村（25.2%）、王滝村（25.0%）、榑川村（21.4%）、木曾福島町（20.9%）、上松町（19.3%）、開田村（18.2%）、木祖村（14.5%）、三岳村（13.8%）であった。

特に、南木曽町は連合全体での割合に比べ、統計学的に有意に高い割合であった。

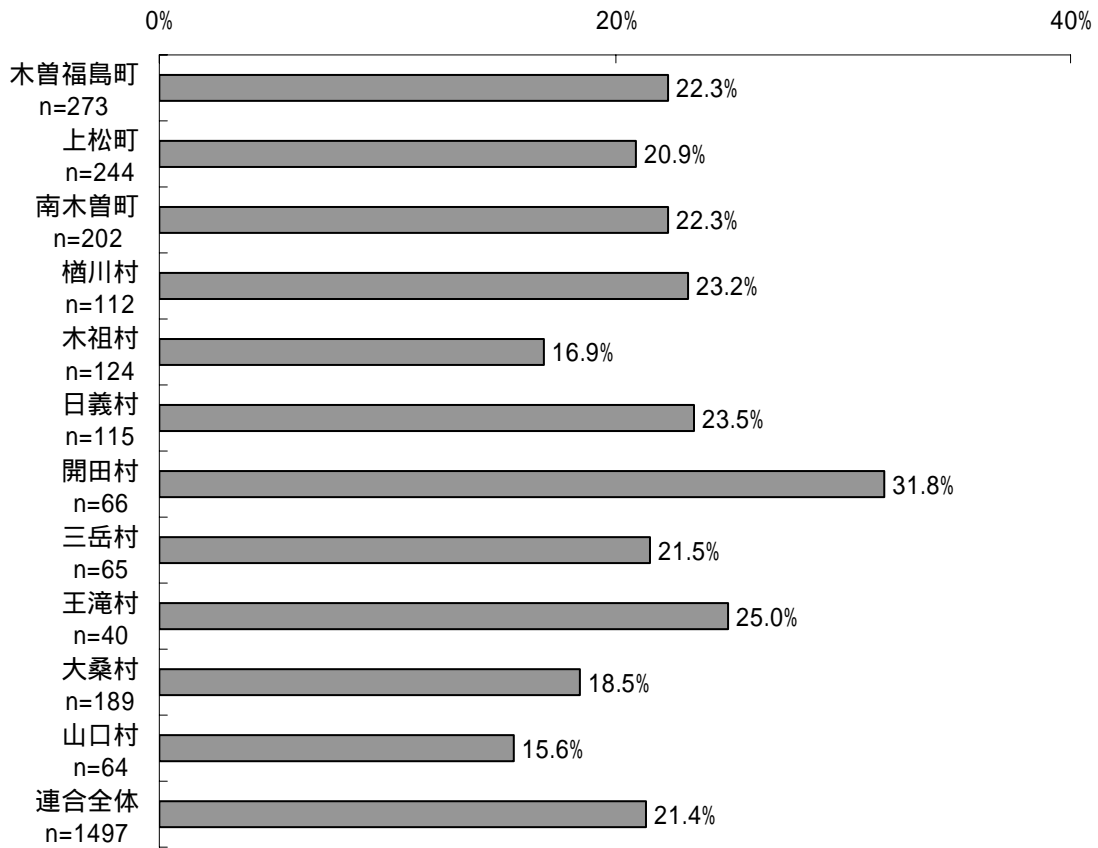
食糧など日用品を購入できる商店が少ないこと



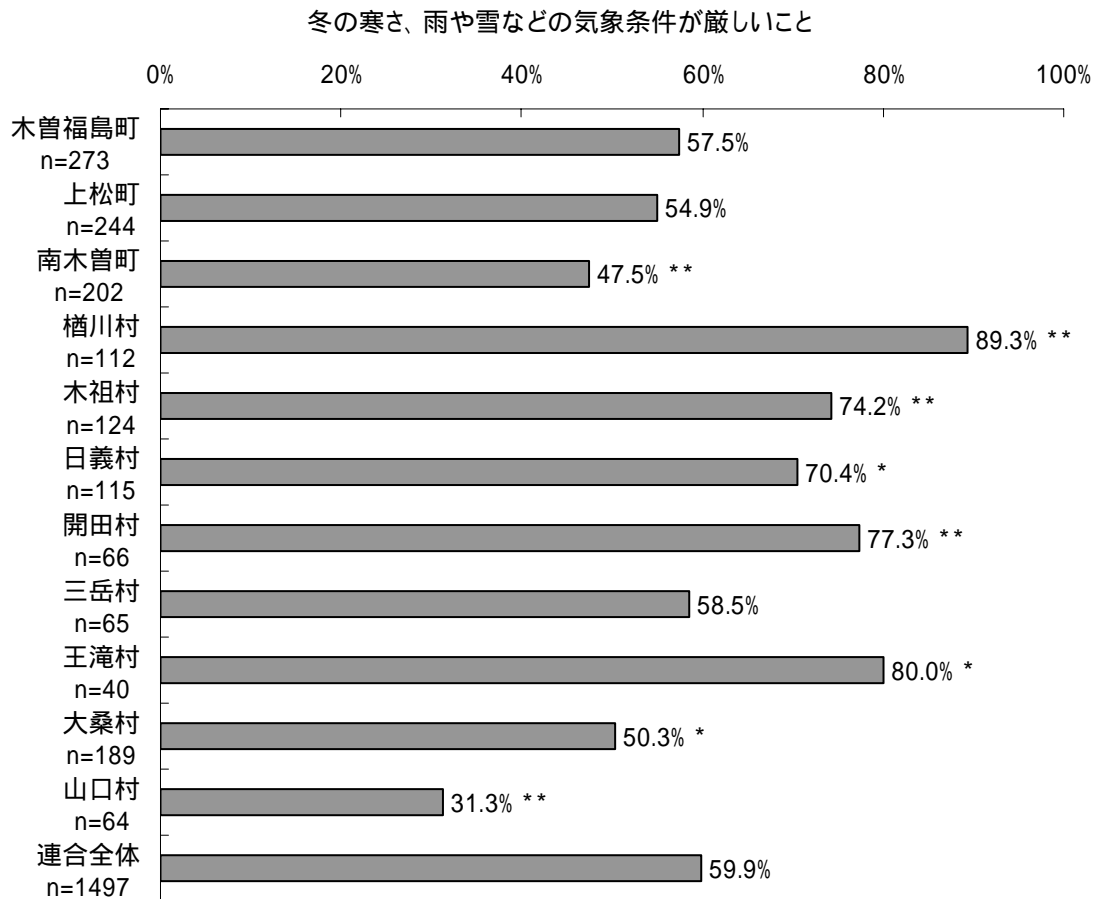
現在の居住地で老後を過ごすにあたっての不安事項として「食糧など日用品を購入できる商店が少ないこと」を挙げた割合を居住地別にみると、三岳村で最も多く（53.8%）、次いで日義村、大桑村（ともに 48.7%）、王滝村（42.5%）、檜川村（42.0%）、開田村（40.9%）、山口村（40.6%）、南木曽町（38.6%）、木曽福島町（28.9%）、上松町（27.5%）、木祖村（18.5%）であった。

特に、三岳村、日義村、大桑村は連合全体での割合に比べ、統計学的に有意に高い割合であった。また、木祖村、上松町、木曽福島町は連合全体での割合に比べ、統計学的に有意に低い割合であった。

頼れる家族や友人が遠くにいること



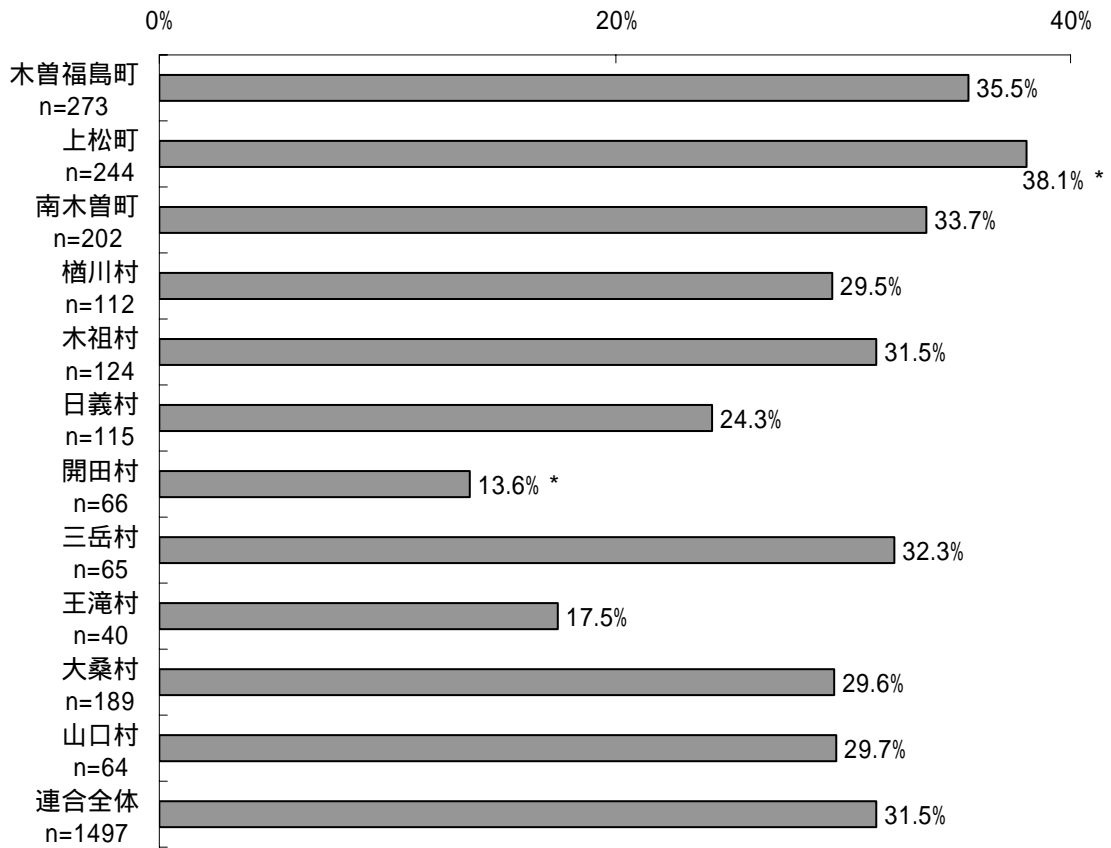
現在の居住地で老後を過ごすにあたっての不安事項として「頼れる家族や友人が遠くにいること」を挙げた割合を居住地別にみると、開田村で最も多く(31.8%)、次いで王滝村(25.0%)、日義村(23.5%)、榑川村(23.2%)、木曾福島町、南木曾町(ともに22.3%)、三岳村(21.5%)、上松町(20.9%)、大桑村(18.5%)、木祖村(16.9%)、山口村(15.6%)であった。



現在の居住地で老後を過ごすにあたっての不安事項として「冬の寒さ、雨や雪などの気象条件が厳しいこと」を挙げた割合を居住地別にみると、檜川村で最も多く（89.3%）、次いで王滝村（80.0%）、開田村（77.3%）、木祖村（74.2%）、日義村（70.4%）、三岳村（58.5%）、木曽福島町（57.5%）、上松町（54.9%）、大桑村（50.3%）、南木曽町（47.5%）、山口村（31.3%）であった。

特に、檜川村、王滝村、開田村、木祖村、日義村は連合全体での割合に比べ、統計学的に有意に高い割合であった。また、山口村、南木曽町、大桑村は連合全体での割合に比べ、統計学的に有意に低い割合であった。

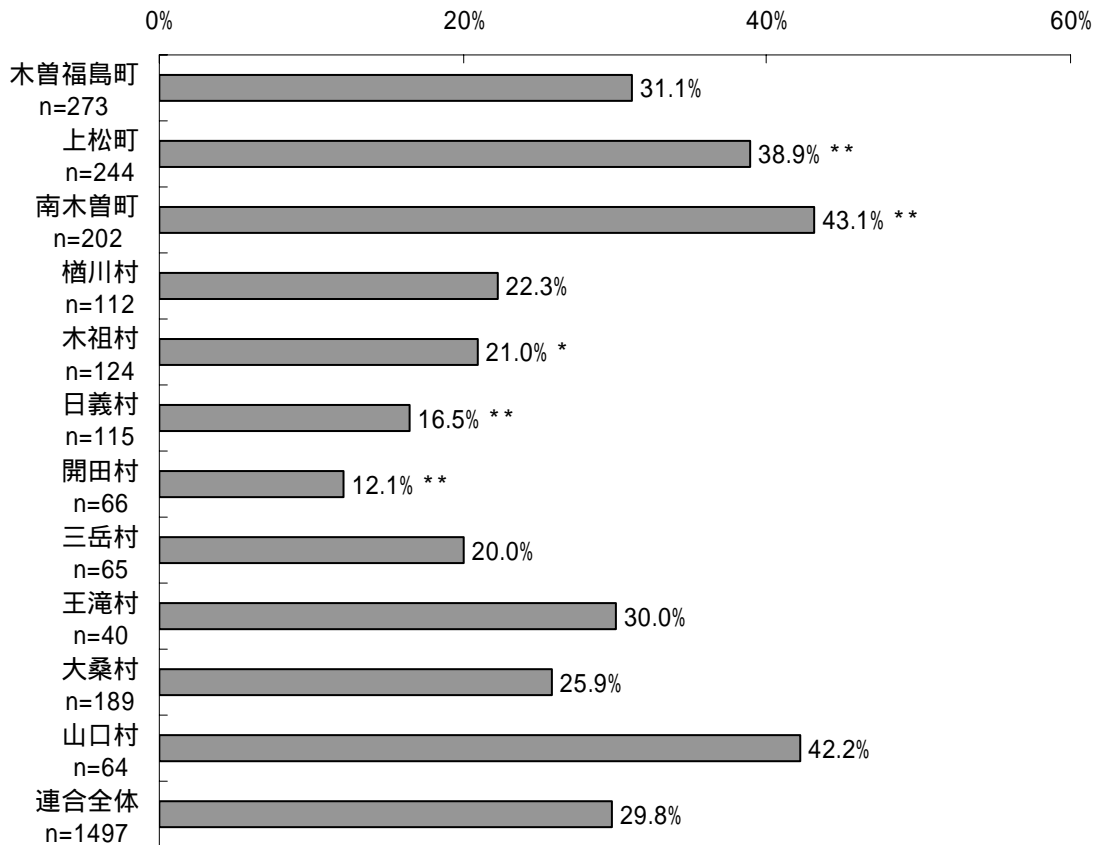
家の中の段差や階段が、スムーズな移動を妨げそうなこと



現在の居住地で老後を過ごすにあたっての不安事項として「家の中の段差や階段が、スムーズな移動を妨げそうなこと」を挙げた割合を居住地別にみると、上松町で最も多く(38.1%)、次いで木曽福島町(35.5%)、南木曽町(33.7%)、三岳村(32.3%)、木祖村(31.5%)、山口村(29.7%)、大桑村(29.6%)、榑川村(29.5%)、日義村(24.3%)、王滝村(17.5%)、開田村(13.6%)であった。

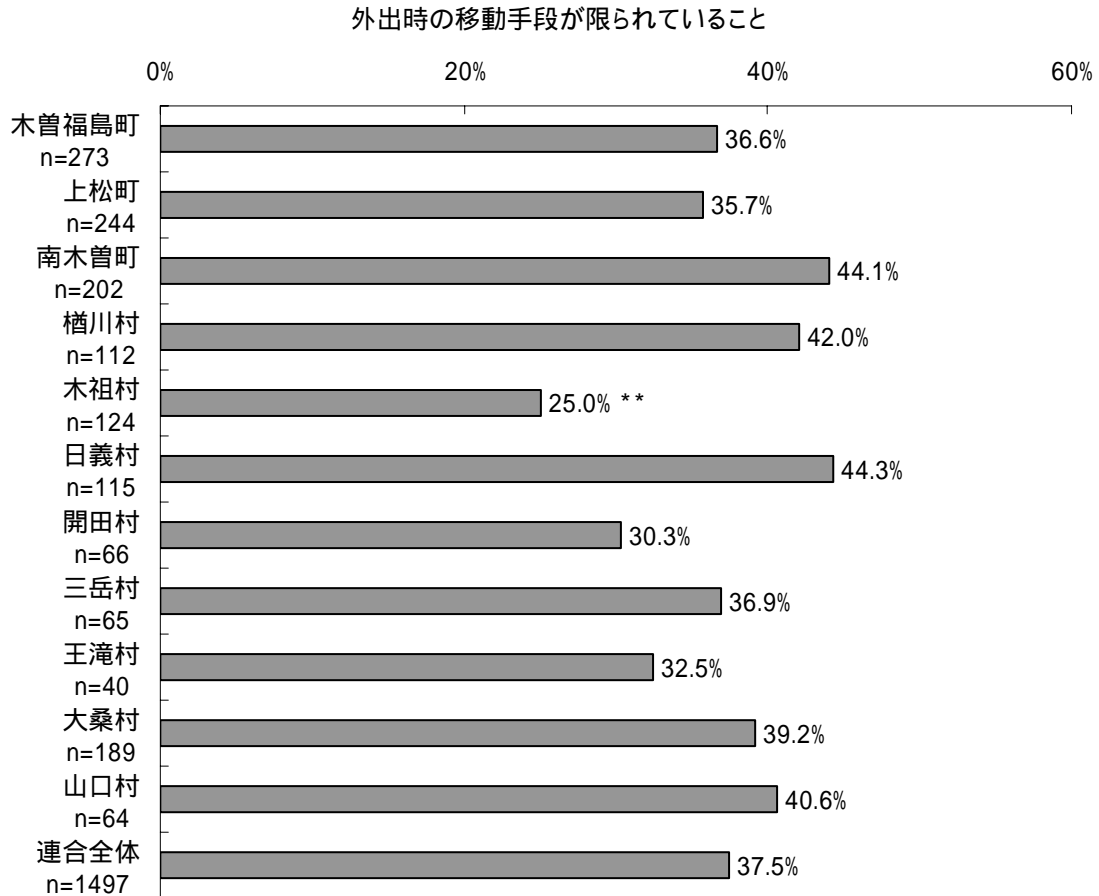
特に、上松町は連合全体での割合に比べ、統計学的に有意に高い割合であった。

家の廻りの坂の上り下りなど地理的な条件が厳しいこと



現在の居住地で老後を過ごすにあたっての不安事項として「家の廻りの坂の上り下りなど地理的な条件が厳しいこと」を挙げた割合を居住地別にみると、南木曽町で最も多く(43.1%)、次いで山口村(42.2%)、上松町(38.9%)、木曽福島町(31.1%)、王滝村(30.0%)、大桑村(25.9%)、榑川村(22.3%)、木祖村(21.0%)、三岳村(20.0%)、日義村(16.5%)、開田村(12.1%)であった。

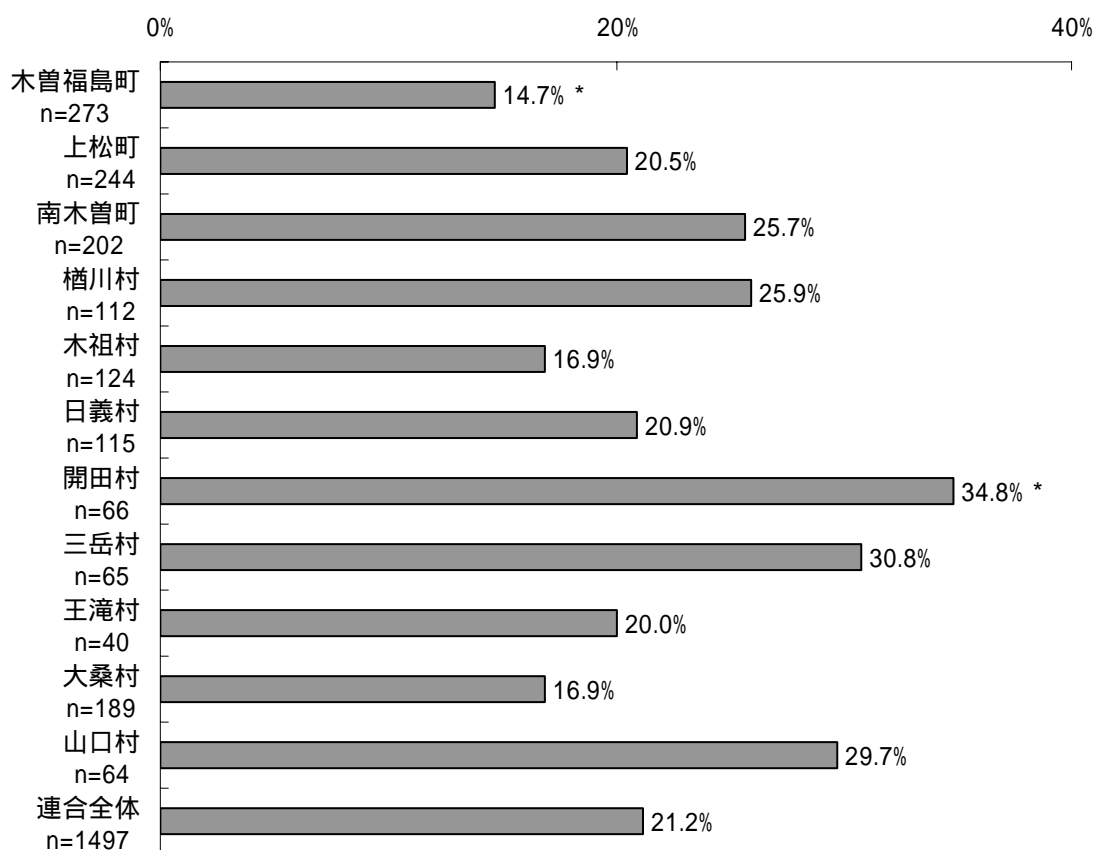
特に、南木曽町、上松町は連合全体での割合に比べ、統計学的に有意に高い割合であった。また、開田村、日義村、木祖村は連合全体での割合に比べ、統計学的に有意に低い割合であった。



現在の居住地で老後を過ごすにあたっての不安事項として「外出時の移動手段が限られていること」を挙げた割合を居住地別にみると、日義村で最も多く（44.3%）、次いで南木曽町（44.1%）、榑川村（42.0%）、山口村（40.6%）、大桑村（39.2%）、三岳村（36.9%）、木曽福島町（36.6%）、上松町（35.7%）、王滝村（32.5%）、開田村（30.3%）、木祖村（25.0%）であった。

特に、木祖村は連合全体での割合に比べ、統計学的に有意に低い割合であった。

緊急時に誰かに駆け付けてもらうまで時間がかかること



現在の居住地で老後を過ごすにあたっての不安事項として「緊急時に誰かに駆け付けてもらうまで時間がかかること」を挙げた割合を居住地別にみると、開田村で最も多く（34.8%）、次いで三岳村（30.8%）、山口村（29.7%）、榑川村（25.9%）、南木曽町（25.7%）、日義村（20.9%）、上松町（20.5%）、王滝村（20.0%）、木祖村、大桑村（ともに16.9%）、木曾福島町（14.7%）であった。

特に、開田村は連合全体での割合に比べ、統計学的に有意に高い割合であった。また、木曾福島町は連合全体での割合に比べ、統計学的に有意に低い割合であった。